

地域から学び地域で豊かでたくましい人間力を育む教育活動

岡山県美作高等学校 地域活性化グループ

活動の目的

地域社会が抱える現状から、高校生と地域の住民が交流し共に活動をするを通して、双方がWIN-WIN関係（＝「若者の地域交流による社会の活性化」と「高校生のコミュニケーション能力と自己有用感の育成」）を築くことをこの活動の主目的とする。地域が教室・地域が教師の立場に立って事業を展開する。特に鏡野町羽出地区のお年寄りとの交流（福祉活動・生活支援・軽作業など）を通した人間関係づくりは高校生の「人間力育成」に大きく結びつくものと判断する。

活動の内容及び経過

本校は、生徒一人ひとりの個性を大切にコース制教育を展開し、これまで多くの卒業生を地域に輩出している。今回申請した活動では、そのコース教育の特色と魅力を十分に活用して、下記のコースで具体的な交流実践に取り組んだ。

- 福祉コース：鏡野町奥津地域の高齢者の方と交流活動を行い、過疎化が進んでいる地域の活性を行った。
- 創造コース：津山市立東小学校の放課後児童クラブにて小学校対象のレクリエーションを行い、地域との交流の中でコミュニケーション能力の育成を行った。
- ITコース：鏡野町奥津地域の高齢者との交流を行い、伝統文化であるしめ縄づくりを行い、ITコースで学習したデジタル機器にて記録やリーフレットの作成を行った。
- ライセンスコース：鏡野町奥津地域にて地域清掃ボランティア活動と高齢者施設の清掃及び交流を行い、高齢者では困難な作業を行うなかで奉仕の精神を学んだ。
- 美作大学コース：津山市の子供参加イベントや地域活性化イベントに参加し、ボランティア精神を養った。

活動の成果・効果

福祉・ライセンス・ITコースによって、高齢化や過疎化が進む地域との交流を通して、地域創生の在り方や人口減少における地域の衰退を知り、高齢者が抱える問題やコミュニケーションの不足による心の衰弱を学んだ。このことから今後の地域社会について高校生がどのように取り組み、課題解決をする必要があるかを考えるきっかけとなり、ボランティア精神を身に付けた。創造コース・美作大学コースは地域の子供たちと関わることで少子化や核家族による子供たちの心の問題に直面し、これからの社会において子供たちが生き生きと活動できる社会の構築について考えるきっかけとなった。このような活動を通して、高校生たちが自ら議論し、よりよい貢献活動とは何か、高校生にでき



る地域創生とは何かを体験学習を通じてアクティブラーニングをすることができ、心の面での大きな成長や地域社会に貢献しようとする心の育成が見られた。

今後の課題と問題点

今後の課題として、地域が子供を育て、子供が地域を活性化するという観点で、学校という空間にとらわれず、さらに多くの地域との交流が必要であると考えられる。また、この経験を生かすためにも継続的な活動を行わなければ、本当に身に付いたことにならない。過疎化が進んでいる地域に高校生が出向いて活動できる環境づくりと、高校生を受け入れていただける地域の拡大や行政の協力が必要であると思われる。

- 代表者：早瀬直紀 ●所在地：津山市山北
- TEL：0868-22-4838 ●E-MAIL：info@mimasaka.ed.jp
- URL：http://mimasaka.ed.jp/
- 設立年：2015年 ●メンバー数：教職員6名 生徒200名